



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2011推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう！

**飯伊民医連介護ウェーブ推進委員会主催学習会に110名が参加
闘いはこれから！新たなつながりを軸に活動を広げていくことが必要（長野）**



5月27日に、飯伊民医連介護ウェーブ推進委員会主催の「介護ウェーブ学習会」を開催し、予想を上回る110名の参加があり資料を2回も増刷しました。民医連以外から15事業所・団体の参加があり運動の広がりを感じました。学習会では、認知症の人と家族の会全国理事で長野県代表者の関靖氏を講師に、問題山積みの介護保険法改正法案を学び、今後のたたかいの意志統一を行いました。

学習会の成功に向けて、飯伊地域の100事業所に学習会のチラシを郵送した他、ゆいの里の職員や推進委員長が地域の事業所を訪問したことが、参加増の要因と思われます。また、私たちが思っているより情勢が緊迫していることも感じました。同封したアンケートは2事業所から回答があり厳しい実態が書かれてありました。署名は当日も持ってきててくれた事業所もあり243筆集まりました。会場でも60筆近く集まりました。情勢は厳しいですが、闘いはこれからです。新たなつながりを軸に活動を広げていきます。（長野民医連 2011介護ウェーブニュース 豊かな介護に）

**地域の介護事業所にお願いした署名がどんどん返送！
各法人で地域訪問や学習会で取り組みを推進し署名累計18,783筆（北海道）**

オホーツク勤医協では、先週1週間で1,200筆を超える署名が寄せられました。目標（2,000筆）を大きく超えて2,300筆に達しています。その多くは、協力をお願いしていた地域の20ヶ所の介護事業所から寄せられたものです。今も続々と署名用紙が戻ってきています。また、病院関係の業者へ依頼したり（「署名用紙が足りないよ」の声も）、職員がもう一回り親戚や知人に声をかけようと呼びかけています。社会福祉法人協立いつくしみの会では、10月に高齢者専用賃貸住宅「ぼろか」をオープンさせる上野幌地域の訪問行動を行いました。22名（友の会員6名・職員16名）が参加し、50世帯の方と対話し、「ぼろか」オープンのごあいさつと、「認知症」をテーマにした地域学習会のご案内、そして介護保険の改善を求める署名への協力を訴えました。訪問後、さっそく「学習会に参加したい」「認知症の方々を守るネットワークに私も入りたい」と電話があり、地域住民の方々の介護要求の強さが示されました。北海道民医連では、介護署名の4月からの累計は18,783筆となりました。

（北海道民医連ニュース 2011年6月1日より）

宣伝・署名行動(6月1日)に31名が参加！ 地元TV局が取材(宮崎)



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp